

新年のごあいさつ

笠間市長 山口 伸樹

あけましておめでとうございます。市民の皆さまには、輝かしい新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

◆ 昨年を振り返って

昨年を振り返りますと、新型コロナウイルス感染症の5類への移行方針が1月に発表され人の動きが活発化していく中、過去126年で最も暑い夏を経験し、また、ウクライナおよびイスラエル・パレスチナ情勢など世界規模での出来事は、今もなお続いています。

また、国内においては、円安・物価高騰が生活等に影響を及ぼす中、本市では、国の経済対策を活用しながらスピード感をもって市独自の経済および生活支援策を講じるとともに、人口減少時代に対応したまちづくりをあらゆる分野で横断的に一歩ずつ進めてまいりました。

人の動きの活発化においては、JRDグループ6社と地域が一体となつて行う国内最大規模の観光キャンペーンである「茨城ドステイネーションキャンペーン（茨城DC）」とあいまあったテレビCMの放映が大きな反響を呼び、栗や菊といった観光シーズンとも重なったことで多くの方が来訪され、また、笠間台湾交流事務所開設5周年を迎

える中、台湾からの来訪者も増加し、「プレイキン」や「大学生オリエンターリング」といった大規模なスポーツイベントが次々に開催されるなど、コロナ禍前以上の賑わいをみせました。

同時に、妊娠前、妊娠・出産期から育児期における伴走型支援やエコランドセルのプレゼントをはじめとした小学校、中学校および高校進学等の節目における支援、学校給食費の負担軽減等を軸とした「笠間まるごと『子育て都市』宣言プロジェクト」や女性の活躍を促進する「かさまち娘応援プロジェクト」等の施策を重点的に取り組んできました。

引き続き、厳しさが増すことが予想される社会経済環境の中で、明るい兆しや機会を逃すことなく、さまざまにみな方が活躍できる、笠間の未来に向けたたまちづくりを進めていきます。

◆ 新年の抱負

「未来に向けた笠間市づくり」

近年、気候変動問題といった地球規模の課題、人口減少など国全体における課題を背景に、日常生活と地域経済の双方において、人材不足をはじめとした、行政だけでは解決できないさまざまな問題や課題が顕在化しています。それらの解決に向けて挑

戦し、市民の皆さまが将来にわたり期待がもてる笠間市づくりを進める必要があります。

本年は、『未来に向けた笠間市づくり』を重点課題とし、『子ども子育て世代にやさしく、多様な人材の活躍』『変化と稼ぐ力の強化』『持続と成長を促進する都市基盤』を掲げ、昨年末に制定した「笠間市公民連携推進条例」も踏まえながら、市民の皆さまはもとより、行政、企業、教育機関などさまざまな主体との連携により、笠間市の成長と持続に資する取り組みを強化していきます。

◆ 笠間まるごと「子育て都市」宣言プロジェクトの強化

新小学1年生へのエコランドセルのプレゼント、新中学1年生への制服購入費助成、新高校1年生およびこの春高校等を卒業される方への新生活応援金助成をはじめ、子どもを中心に考えた、多世代が「一緒に遊ぶ、安心して楽しく過ごせる」場の構築を公民連携により進めます。また、施策の更なる充実に向けて、笠間市を担う人材確保にもつながる奨学金制度の検討や、笠間の未来を担う子どもたちを地域全体で育む風土づくりなどを「笠間まるごと」子育て都市「宣言プロジェクト」を強化していきます。

◆ デジタル化への新たな挑戦

市では、人口減少・高齢化によって顕在化するさまざまな地域課題に対し、デジタル技術を活用した解決策を公民連携により実証・検討していきます。



エコランドセル（新・小学1年生にプレゼント）
* 素材の一部にペットボトル再生繊維を使用

笠間版デジタル田園都市構想事業のモデル地域である福原地区での取り組みは2年目を迎え、オンラインシステムを活用した市役所職員との双方向による相談や申請支援等を可能とする「動く市役所」が始動する中、モデル地域の住民の方々からは、デジタル技術の活用に関しさまざまなご意見ご提案をいただいています。

こうした中、情報の伝達の迅速化や共有化、行政区の区長・班長の負担軽減の効果、デジタルによる情報発信の課題を検証するため、広報紙等の

『回覧文書の電子化』実証実験をモデル地区である福原地区の一部と、他地区への波及として大沢地区の一部で本年2月3月に実施します。

◆ 企業誘致・人材確保の推進

近年、企業立地が堅調な茨城中央工業団地笠間地区について、昨年末に新たな企業の進出が決定しました。これにより、団地内および隣接地あわせて、現在12社の進出が決定し、うち9社が操業するとともに、今後も段階的な採用が見込まれる中、現時点の雇用状況は、「正規雇用者で500名を超える状況となっています。市



「動く市役所」オンライン相談の様子

民の働く場の確保はもとより、税収増加など、将来にわたる地域経済の成長発展に向け、県と連携した企業誘致活動を進めるとともに、地方都市にとって共通で難しい課題となっている人材の確保策への挑戦を続けていきます。



茨城中央工業団地 笠間地区に立地する企業
(昨年操業した株式会社オータマ・株式会社トンボ東京物流センター)

◆「笠間の栗」ブランド力の強化

「笠間の栗」のブランド化を進め、将来にわたる持続発展させていくためには、「質」と「量」、そして「人材」の確保が重要となってきます。

本年は、笠間の栗の「むき手」の養成・確保、技術継承に向けた「むき手マイスター養成講座」の実施と連動した事業者とのマッチング、農地集積や栽培技術の向上、更には水田畑地化

による栗畑への転換にも挑戦し、栗の生産拡大に取り組んでいきます。

◆観光誘客促進・台湾交流による地域の活性化

■観光誘客促進による所得向上

人流の回復や茨城DCの反響を著実な誘客につなげ定着させていくため、「食」や「体験」を核とした新たな観光ツールを創出します。同時に、台湾をはじめとする海外インバウンド需要の拡大も視野に、宿泊施設の開業を目指すなど、国内外からの観光誘客を促進し、本市のゲートウェイである「道の駅かさま」を拠点として回遊性を生み出し、市内各所にその効果を波及させることで関連事業者等の所得向上を目指してまいります。

■台湾交流の強化

笠間台湾交流事務所が開設5周年を迎えた昨年、市では、「台北市」をはじめ「銘傳大学」および「台北城市科技大学」と連携協定を締結するなど、本市と台湾の交流関係を一層強固なものとなりました。

これを機に本年は、これまでの観光を軸とした交流のほか、産業、教育、スポーツなどの分野において、人材を中心とした相互交流を促進します。

語学交流や短期研修、留学、更には台湾学生のインターンシップの受け入れなど、取り組みを本格化し、次世代

を担う子どもたちをはじめ、グローバル社会で活躍できる人材育成を図っていきます。



道の駅かさま



観光客で賑わう笠間稲荷門前通り

◆物価高騰対策・都市基盤整備の加速化（経済対策等補正予算の成立）

市では、国の経済対策に対応した市の物価高騰対策等を盛り込んだ補正予算（10億868万8千円）について、昨年12月に開催された第4回定例会に提案し、市議会の承認をいただきました。市民の日常生活と事業者の経済活動を守るため、国の「物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金」を活用した各種物価高騰対策等を実施します。

■低所得世帯支援（国施策）

低所得世帯支援（住民税非課税世帯を対象に1世帯当たり7万円）について、今月下旬を目途に、確認書を発送し、順次、1世帯当たり7万円を給付します。

■民生委員・児童委員活動に対する経済的支援（市独自対策交付金）

民生委員・児童委員の方々が、地域住民の状況把握や高齢世帯への訪問・見守り活動で使用する自家用車の燃料費について、価格高騰により、自費負担の発生が見込まれることから、委員1人当たり1万2千円の費用弁償相当による追加支援を行います。

■市内子ども食堂運営支援（市独自対策交付金）

子どもが安心して過ごせる居場所を確保するため、継続した安定運営に向けた支援として、市内子ども食堂運営団体に対し、1団体当たり10万円を上限に補助します。

■笠間プレミアム商品券の発行（市独自対策交付金）

物価高騰の影響を受けている市民生活と売り上げの減少が懸念される市内事業者の双方の支援につながるように、プレミアム率20パーセントの商品券を4万冊、総額4億8千万円分を2月に発行します。

家計負担を緩和し、地域内の消費を喚起することで、地域経済の活性化を促進します。

■児童生徒の通学用ヘルメット購入費全額助成（市独自対策交付金）

令和6年度に市内小中学校等で、新たに通学用ヘルメットを購入する児童生徒の保護者に対し、これまでの購入費の一部助成2千円に上乗せし、全額補助とすることで、通学時の安全確保はもとより、子育て世帯の経済負担の軽減を図ります。

■都市基盤強化事業の加速化（国庫補助）

国の補正予算を受けて「（仮称）笠間PA スマートIC」や「（仮称）鯉淵南友部線」、「安居工業地域」の整備をはじめ、道路橋梁の修繕工事等の各種ハード事業を推進し、広域的な要素も含め、都市機能を強化していきます。

以上、本年のまちづくりへの抱負の一端を述べさせていただきました。

「笠間の未来を創る」ため、さまざまな地域課題の解決に向け、果敢に挑戦するとともに、行政経営基盤の強化に向け行財政改革を推進し、市政運営に取り組んでまいります。

結びに、本年も変わらぬご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げますとともに、皆さまにとって希望に満ちた年になりますよう心からお祈り申し上げます。ごあいさついたします。